

年少 こやぎ 組

ぼくの！わたしの！

記入者 こやぎ組担任

〇〇くんの
ここにあった！



待っててね



ばいばーい



今日は、子供たちが作ってきた動物や乗り物を展示室に飾りました。「木の上がいい」「ここにやるね」と思い思いに自分の作品を置いていきます。部屋の中をぐるっと回って、お友達の作品を見つけて喜んだり、友達とお互いの場所を確認し合ったりする姿も見られました。

みんなの場所が決まって「さあ帰ろう」と私が部屋を出ると、「あれ？私のきりんちゃん？」「あれ？」とみんなが首をかしげて一言。一緒に来て、一緒に帰る気持ちだったようです。「また来るね、待っててねって言っておいてあげたら大丈夫かな？」と伝えると、部屋の中の自分の動物、乗り物のところへ一目散に走っていく子供たち。ぎゅっと抱きしめたり、「ばいばい」と手を振ったり、よしよしして頭をなでてあげたり。そして、帰りのバスに乗ってからも、「寂しいって泣いてるかも」「お兄さんお姉さんが見ててくれるかな」「迷子にならない？」と心配そうにするみんながとてもかわいらしかったです。

壊れないようにそっと作品を持つ優しい手や、置いていくのが心配になる気持ちから、子供たちが製作した動物や乗り物を大切に思っていることが伝わってきました。